

令和5年第5回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問項目	質問項目
1(18番) 辻本 美恵子	1 介護保険事業の取り組みについて	(1) 地域包括ケアシステムの構築にどのように取り組んできたか。
		(2) 介護予防・日常生活支援総合事業に、どのような取り組みをしてきたか。
		(3) 多様な主体によるサービスの取り組みは、どのような状況にあるのか。
	2 災害時等要援護者支援制度の運用について	(1) 災害時等要援護者支援制度の目的は何か。
		(2) 制度の始まりから今年度まで、制度の対象者数と登録者数の推移は。
		(3) 登録されたデータはどのように活用されているか。
	3 災害時避難について	(1) 筑紫野市民が避難するとされている避難所に関する情報はどのように提供しているか。
		(2) 現在、ハザードマップに掲載されている避難所の安全確認をするべきではないか。
		(3) 災害時に役立つ避難所を設置するべきではないか。
2(14番) 八尋 一男	1 生ごみ分離による堆肥化と飼料のリサイクルについて	(1) 会派代表質問の答弁は、様々な課題があるため考えていないとのことであったが、様々な課題とは何か
		(2) 堆肥化によるごみ減量は環境負荷低減と助燃費削減につながる手段であると考えが取り組まない理由は何か
		(3) 会派代表質問の答弁は、現在のところ考えていないとの事だが、いつから取り組む予定か
3(2番) 古賀 新悟	1 公務の非正規職員について	(1) 23年4月1日現在のフル・パートタイムの会計年度任用職員数をそれぞれ尋ねる。
		(2) 22年度から23年度へ継続任用した会計年度職員数は何人で、その継続の理由を尋ねる。
		(3) 行政職給料表の適用を受ける会計年度任用職員のうち採用1年目の時間給は、最低賃金と比べてどうか尋ねる。
		(4) 正規職員と会計年度任用職員の業務はどのように分けているのか尋ねる。
		(5) 会計年度任用職員の適正配置、定数はどのように行っているのか尋ねる。
		(6) 会計年度任用職員制度の導入により、会計年度任用職員の処遇改善されたという点を尋ねる。
4(7番) 坂口 勝彦	1 自転車用ヘルメットについて	(1) ヘルメット着用と自転車安全利用の普及啓発はどのように行っているか。
		(2) 本市でもヘルメット購入補助事業を検討しては。
	2 「国道3号バイパストンネルの道路整備等を求める」要望書について	(1) 代表質問の答弁にあったこれまでの経緯や課題はどのようなものか。
		(2) 本年3月からの進捗状況は。
5(1番) 佐々木 忠孝	1 JT工場跡地について	(1) 市民から、JT跡地を購入して市民が集う場所として整備してほしいとの声が上がっているが、市の見解を伺う。
6(17番) 西村 和子	1 観光振興の課題と将来目標について	(1) 温泉利用客数を、男女・年齢階層・目的などで分析し、活性化策を策定すべきではないか。
		(2) 新たな特産品を作り出すことが必要だと考えるが市の見解は。
		(3) 観光のトレンドが、個人・体験型へと変化しているが、ニーズに対応する事業は検討されているのか。
		(4) インバウンドが増加することが推測されるが、どのような対応策があるのか。
		(5) 本市の多くの観光資源や体験を組み合わせるツアーの企画を、関係部署、事業者と連携して実施すべきでは。
		(6) 10年、20年後の本市の観光のあるべき姿をどのように考えているのか。

令和5年第5回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問項目	質問項目
7(9番) 吉村 陽一	1 インターネット上での誹謗中傷や人権侵害について	(1) インターネット上の悪質な書き込みや誹謗中傷等の人権侵害にどのような対策を講じているか。 (2) インターネット上における人権侵害等の被害者支援等に関する条例制定を検討すべきではないか。
8(10番) 段下 季一郎	1 待機児童対策について	(1) 会計年度任用職員の保育士の賃上げを行うべきと考えるが市の見解は。 (2) 保育士家賃補助事業の増額をすべきと考えるが市の見解は。 (3) 保育士の資格取得支援、給付型奨学金制度を創設すべきと考えるが市の見解は。 (4) 保育士へ就職祝い金、勤続時に定着支援金を支給するべきと考えるが市の見解は。 (5) 届出保育所の利用者への保育料助成を行うべきと考えるが市の見解は。 (6) 待機児童を在宅で育てる世帯に毎月給付金を支給するべきと考えるが市の見解は。
	2 小規模事業者向けの創業支援について	(1) 創業者支援事業補助金を行うべきと考えるが市の見解は。
	3 高齢者・障がい者の行方不明対策について	(1) 行方不明対策としてGPS端末貸出しによる見守りを行うべきと考えるが市の見解は。
9(12番) 前田 倫宏	1 脱炭素社会について	(1) 地域脱炭素実現に向けた「第三次環境基本計画」の改定や「新たな計画」の策定が必要と考えるが、見解は。 (2) 「ゼロカーボンシティ」を表明するべきと考えるが、見解は。 (3) 国の「地域脱炭素の推進のための交付金」等を活用するべきと考えるが、見解は。
	2 子育て支援について	(1) 保育所の一時預かりに関し、定員及び施設等を拡充すべきと考えるが、見解は。 (2) ファミリー・サポート・センター事業に関し、子どもの預かり場所として公共施設等の活用を検討できないか。 (3) 子どもの居場所づくりに関し、「子ども館」等の新たな施設整備を提案したが、検討状況は。
10(16番) 宮崎 吉弘	1 水害における被災家屋認定調査の官民連携について	(1) 罹災証明の交付の為に被災認定調査の実施体制は、本市はどのようになっているか。 (2) 本市では被災認定調査にどのくらいの期間を要しているのか伺う。 (3) 罹災証明書発行の資料を無償提供する保険会社があるが、本市も協定を結んでどうか。
	2 小中学校体育館のエアコン設置について	(1) 避難所や熱中症対策が望まれる小中学校体育館に、エアコン設置が必要ではないか。 (2) エアコン設置を加速させるため、文科省は国庫補助率を引き上げたが、エアコン設置についての市の見解は。
11(8番) 山本 加奈子	1 空き家対策について	(1) 本市の「空家等対策計画」に空家等及び跡地の活用の促進とあるが、実績と取組み状況は。 (2) 国交省が構築した、「全国版空き家・空き地バンク」への参画はされないのか。 (3) ひとり親や高齢者など住宅確保要配慮者のために、空き家を活用できないか。 (4) 空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴い、本市が早急に取り組むべきことを伺う。
	2 COCOLOプラン～学びの保障に向けた不登校対策～について	(1) 「不登校の子どもの保護者の会」を支援し、SCかSSWを派遣し、コーディネーターの役割が出来ないか。 (2) 教室にいきづらくなった児童生徒が学習できる「スペシャルサポートルーム」の設置状況と今後の取組は。 (3) 学校の授業を、自宅・校内のスペシャルサポートルーム・つくし学級等にオンライン配信が出来ないか。 (4) 自宅やスペシャルサポートルームなどの学びの結果が成績に反映される取組みが出来ないか。

令和5年第5回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問項目	質問項目
12(3番) 春口 茜	1 生活保護制度について	(1) 生活が困難な方や自殺が増えているが、生活保護の申請方法や制度等について周知すべきと考えるが見解は。
	2 子ども食堂の支援及び学童への食事提供について	(1) 市の子どもたちの居場所づくりや食事などを支援している子ども食堂(地域食堂)に市から助成はできないか。 (2) 長期休暇中の子どもの食事の確保として学童に食事を提供すべきと考えるが市の見解は。
	3 物価高騰による生活が困難になっている方への支援	(1) 物価高騰により生活が苦しい子育て世帯にお米券の配布はできないか。
13(15番) 田中 允	1 2023全国学力テストの結果について	(1) 市内の小中学校の正答数や正答率はどうのようになってきているのか
		(2) 小中学校の各学校の格差はどの位か
		(3) 課題と今後の対策は、また、学力テストの効果と意義を問う
	2 子ども館の設置について	(1) 保育所や幼稚園には公費が投入されているが、自宅で子育てしている家庭にはどのような支援がなされているのか
		(2) 子ども館を設置して子どもの居場所作り等にも取り組む必要があるのでは
	3 財政調整基金について	(1) 財政調整基金残高が五市の中でも最大となっているがその理由は
		(2) 財政調整基金の有効活用・使途についてはどのような基準を定めて運用するのか
	4 データサイエンスについて	(1) データサイエンス等DX社会に向けた人材育成取り組みについて見解を求める
(2) 外注に頼らず市独自の施策の立案に寄与すると思うが如何か		